## 平成28年度主要研究課題

研究機関名:富山県環境科学センター

研究課題名	研究目的	研究の概要	研究期間	所 属
富山県における温暖化に関	近未来における気候変化の予	コンピュータシミュレーションにより、近未来の本県の気温、降雪量等の変化を予測し、	平成27年4月	大気課
する調査研究(IV)	測結果の温室効果ガス削減や温暖化による影響の検討への	各試験研究機関のニーズを踏まえ、予測結果を提供するとともに、活用の促進に向けて、予	~ 平成 30 年 3 月	
	活用の促進	測項目の拡充を検討する。	平成30平3月	
富山県におけるアジア大陸	アジア大陸から本県へ飛来す	平野部の汚染の影響を受けにくい立山室堂において、県内に飛来する越境大気汚染物質や	平成27年4月	大気課
起源物質の大気環境への影響に関する	る大気汚染物質及び黄砂の実	黄砂の量及び化学的特徴を把握し、越境大気汚染の寄与率等について検討するほか、平野部	~	
響に関する研究(Ⅱ)	態把握及び影響評価	における PM25 高濃度時の化学成分について、本県の特徴を把握し、発生源等について解析す	平成30年3月	
		る。		
LC/MS/MS を用いた農薬多成	液体クロマトグラフ質量分析	ゴルフ場排水中の農薬濃度について国で指針値が示された農薬のうち、県内で使用実績の	平成26年4月	水質課
分同時分析法の確立に関す	装置(LC/MS/MS)を用いた水試	ある農薬及び県内では使用されていないが、全国で多く使用されている農薬について、多成	~	
る研究	料の環境分析技術の充実	分同時分析法を検討する。	平成29年3月	
富山湾沿岸生態系を支える	富山湾沿岸海域における栄養	富山湾沿岸海域において、水温、塩分及び栄養塩類等の鉛直分布を把握し、水塊構造及び	平成28年4月	水質課
河川環境特性に関する研究	塩類の動態特性の解明	河川から流入する栄養塩類の立体特性について検討する。	~	
			平成31年3月	
循環型社会構築(災害廃棄	災害廃棄物発生量の推計手法	災害廃棄物処理計画を策定する上で必要な災害廃棄物の発生量推計について、GIS を活用	平成28年4月	生活環境課
物)に関する研究	及び処理フローの検討	した推計手法を検討するとともに、県内での処理可能量と広域処理を踏まえた災害廃棄物の	~	
		処理フローを検討する。	平成31年3月	